

解答

一

問一 (1) ア (2) 太陽や月の動き

問二 客観

問三 エ

問四 時間が流れていることや、区切りのある時間がわかる。

問五 太陽の動き

問六 “天変”などを予言し、民衆に知らせることによって権威を保ち、農業にとって非常に重要な情報である気候の変化を暦で知ること、民を養うことができるから。

二

問一 ピアノ教師

問二 「スルメで釣ればいいのに……」

問三 エビガニを二十七匹もつかまえたので興奮し、そのエビガニを一匹ずつ思い出しながら画に描くことを喜んでいる。

問四 太郎がようやく心を開きかけたのに、否定するようなことをいってしまったので、太郎がまた心を閉ざしてしまうと心配し、自分の安易な発言を後悔したこと。

問五 イ

問六 エ

問七 A 模様 B 見当 C 練〔って〕 D 単刀直入 E 吸〔った〕

解説

一

問四 ——線④の前に着目します。「たとえば、砂時計で流れ落ちていく砂を見れば、時間が流れていること自体は認識できます。」や、「砂が完全に流れ落ちて初めて区切りができて、3分なり5分なりという決まった時間を認識できることになります。」という記述があるので、これらの内容をまとめて書き表します。

問五 ——線⑤を含む一文から周期があるものについて考えます。太陽を見れば、朝・昼・夕方・晩、ということがわかりますと述べ、太陽の動きが一番わかりやすいと説明していることから、「太陽の動き」を指していることがわかります。

二

問一 ——線①の前には、服が汚れることを気にかけ、きちんと時間どおりにやってきてしんぼうづよく坐っては帰ってゆく太郎の姿が描かれ、きびしくしつけられていることがわかります。中盤の「太郎の場合に」ではじまる段落の「ピアノ教師」ではじまる一文に、きびしいしつけの具体的な内容が書かれているので、この部分を抜き出します。

問五 本文前半に、「まるで画を描こうとしない子供のこわばりをぼくはいままでに何度かときほぐしたことがある。」とあり、続く部分に子供たちが画を描くきっかけとなった出来事が述べられています。おびえてブランコにのっていた子が昂奮しはじめ、叫んだ後に画を描いたことや、「トシオノバカ、トシオノバカ」と抑圧者の名を書きちらしてからやっと画筆をとるきっかけをつくった少女もあったことなどから、選択肢イが選べます。